**第6学年○組　学習指導案**

 **指導者　 HRT　○○ ○○○**

 **ALT　○○ ○○○**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **６年Unit 1** | **単元名　This is me.** | p.18 - 27 |

1. **指導観**

**★児童観**

　本学級は，活発な児童が比較的多いクラスである。中学年の外国語活動の授業にも，積極的に取り組んできたクラスであり，聞くことに自信を持っている児童が多い。一方で，話すことに対しては，苦手意識を持っている児童も全体の1/3程度いるため，児童に自信を持たせるような指導者の声掛けや，友達の発話に対して，肯定的かつあたたかい雰囲気で聞く姿勢を身につけさせるよう指導を行う。

**★教材観**

本単元では，自分の出身地や得意なことを言って自己紹介を行う。I'm from....や既習のI can....などの表現を用いたクイズややり取り，スポーツや教科など自分の得意なことを伝え合う活動などで学習を積み上げる。単元のゴール活動(You can do it!）では，友達が知らない自分の一面を紹介する目的で自身の紹介を行う。本単元の開始にあたっては，まずアニメーションを使用し，これからの学習に見通しを持たせたり，本単元の最終ゴールを意識させたりする。「第6時間目には，アニメーションのニックたちのように，自分自身の紹介ができるようになるといいね」と指導者が声掛けを行うようにする。

中学年の外国語活動の授業でも，簡単な挨拶や自己紹介を扱っているので，既習事項を生かしながら，本単元での表現を導入できるとよい。

自己紹介は，外国語の授業にとどまらず，コミュニケーションにおいて，必要不可欠なものである。本単元での学習をしっかりと行い，これからの6年時の学習や中学校1年の外国語への自己紹介活動へとつなげたい。

**★指導観**

本単元は，6年最初の単元であり，これから1年間の授業づくりにおいても，非常に重要な単元である。そのため，6年においての学習規律の確保や，授業ルールの構築にも役立てることを目指している。聞くことには慣れている，聞くことが得意な児童が多いため，指導者も積極的に英語を用いて授業を行い，児童の聞く姿勢や聞く力をさらに伸ばすようにする。また，児童がより積極的かつ自主的にやり取りをする姿勢を育てるため，クラス内のさまざまな児童とやり取りをする機会を設けるようにする。クラス内の児童について，全員が知れるような形で活動に取り組ませたい。

1. **単元目標【Goal】**

**出身地や得意なことを言って，自己紹介をすることができる。**

［Hop!］自己紹介をするための言い方を知る。

［Step 1］出身地やできることをたずね合う。

［Step 2］得意なことを伝え合う。

［Jump!］みんなが知らない自分の一面を紹介する。

1. **言語材料**

表現　【Step 1】 Where are you from?　 I’m from....

【Step 2】 I’m good at....

語彙　生き物など（dolphin, horse, penguin, seal）, 国（Kenya）, スポーツ（ice hockey, skiing）, am,　from

アニメーションに登場する機能表現

（ア）「愛称を言う」Call me.... （ア）相づちをうつ Great. （イ）「歓迎する」Welcome to....

一言フレーズ （ア）「愛称を言う」Call me Kazu.

 Response 　【Step 2】 Great.

1. **単元の評価規準**

《知識》＝知識，《技能》＝技能，《思・判・表》＝思考・判断・表現，《態度》＝主体的に学習に取り組む態度

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | ・I’m from…. やI’m good at….などの表現について理解している。《知識》・出身地や得意なことなど，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》・世界の国々への理解を深めるために，各国の小学生の自己紹介から，出身地や得意なことなどを［聞き取っている。《思・判・表》／聞き取ろうとしている。《態度》］　 |
| 話すこと【発表】 | ・I’m from…. やI’m good at….などの表現について理解している。《知識》・自分の出身地や得意なことについて，I’m from.... やI’m good at….などの表現を用いて話す技能を身につけている。《技能》・友達が知らない自分の一面を伝えるために，自分の出身地や得意なことなどを言って，［自己紹介をしている。《思・判・表》／自己紹介をしようとしている。《態度》］ |

1. **単元計画（６時間）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | ページ | 主な活動内容 | 評価 |
| **【Hop!】 自己紹介をするための言い方を知る。** |
| １ | p.18-p.19 | **アニメーション映像を通じて，本単元のトピックや語彙に触れる。****○英語の歌 【How Do You Do?】**（p.26）**◆Story 【（場面）留学生との交流】**アニメーション映像を使って，単元のトピックを導入する。**◆Let’s play. 【キーワードゲーム】**国の名前を使って，キーワードゲームを行う。 | ・本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 |
| **【Step 1】 出身地やできることをたずね合う。** |
| ２ | p.20-p.21 | **出身地やできることをたずねる言い方を知る。****○英語の歌 【How Do You Do?】**（p.26）**◆Let’s watch.**アニメーション映像の一部を使って，Step 1の表現を確認する。**◆Let’s listen. 【留学生の出身地】**留学生との会話から，出身地を聞き取る。**◆Let’s chant. 【I’m from Australia.】**チャンツを使って，Step 1の表現に慣れる。**◆Let’s play. 【スリーヒントクイズ】（教師と児童）**I’m from…. の表現を理解し，先生がなりきっている登場人物を当てる。**○脚注p , b の音と文字** | **◆Let’s listen.** ■**［聞くこと］**I’m from....などの表現について理解している。《知識》 ／出身地について，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》**◆Let’s play.** ■**［聞くこと］**I’m from....などの表現について理解している。《知識》 ／出身地について，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》 |
| ３ | **出身地やできることをたずね合う。****◆Let’s chant. 【I’m from Australia.】**第２時のチャンツを再度歌い，Step 1の表現の復習をする。**◆Let’s play. 【スリーヒントクイズ】**第２時で扱った活動を児童同士で行う。（復習）**◆Let’s try. 【何の動物になりきっているかを当てる】**出身地やできることをたずね，何の動物になりきっているかを当てる。**◆Let’s write. 【自分の出身地を書く】****○脚注p , b の音と文字** | **◆Let’s play.** ■**［話すこと　発表］**I’m from….などの表現について理解している。《知識》／出身地について，I’m from....などの表現を用いて話す技能を身につけている。《技能》 |
| **【Step 2】 得意なことを伝え合う。** |
| ４ | p.22-p.23 | **得意なことを伝える言い方を知る。****◆Let’s watch.**アニメーション映像の一部を使って，Step 2の表現を確認する。**◆Let’s listen.　【留学生の得意なこと】**留学生の自己紹介を聞き，得意なことなどを聞き取る。**◆Let’s chant. 【I’m good at running.】**チャンツを使って，Step 2の表現に慣れる。**◆Let’s play. 【チェーンリレー】**列になり，自分の得意なことを伝え合う。**○脚注p , b の音と文字** | **◆Let’s listen.** ■**［聞くこと］**I’m good at….などの表現について理解している。《知識》／得意なことについて，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》**◆Let’s play.** ■**［話すこと　やり取り］**I’m good at....などの表現について理解している。《知識》 ／自分の得意なことについて， I’m good at….などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。《技能》（ゴール活動に向けて，ここで形成的評価を行うことが可能。） |
| ５ | **得意なことを伝え合う。****◆Let’s chant. 【I’m good at running.】**第４時のチャンツを再度歌い，Step 2の表現の復習をする。**◆Let’s play. 【チェーンリレー】**第４時で扱った活動を再度行う。（復習）**◆Let’s try. 【得意なことを伝え合う】**I’m good at….の表現を使用し，自分の得意なことを伝え合う。**◆Let’s write. 【自分が得意なことを１つ書く】****○脚注p , b の音と文字** | **◆Let’s play.** ■**［話すこと　やり取り］**「評価規準（例）《知識》《技能》」記述参照。**◆Let’s try.** ■**［話すこと　やり取り］**お互いのことを知るために，I’m good at....などの表現を用いて，得意なことを［伝え合っている。《思・判・表》 ／ 伝え合おうとしている。《態度》］（ゴール活動に向けて，ここで形成的評価を行うことが可能。） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | ページ | 主な活動内容 | 評価 |
| **【Jump!】 みんなが知らない自分の一面を紹介する。** |
| ６ | p.24-p.27 | **みんなが知らない自分の一面を紹介する。****◆World Tour 【世界の小学生の自己紹介】**映像を見て，世界の小学生の出身地や得意なことについて考えを深める。**◆Let’s chant. 【I’m from Australia.】 【I’m good at running.】**（p.20, p.22）Step 1とStep 2のチャンツを再度声に出す。**◆You can do it! 【絵や写真を使った，自己紹介】**絵や写真を使って，自己紹介をする。**○Fun Time 1 文字遊び 【単語の初めの文字】**音声を聞き，それぞれの単語の初めの文字を書く。 | **◆World Tour**■**［聞くこと］**世界の国々への理解を深めるために，各国の小学生の自己紹介から，出身地や得意なことなどを［聞き取っている。《思・判・表》／聞き取ろうとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。**◆You can do it!** ■**［話すこと　発表］**友達が知らない自分の一面を伝えるために，自分の出身地や得意なことなどを言って，［自己紹介をしている。《思・判・表》／自己紹介をしようとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。**〇Fun Time 1 文字遊び** ■**［聞くこと］［書くこと］**アルファベットの活字体の大文字・小文字について理解している。《知識》／アルファベットの活字体の大文字・小文字を聞いて識別したり書いたりする技能を身につけている。《技能》 |

※ 第６時にてFun Time 1　英語の詩 HELLO（音声を聞いて詩のリズムを楽しむ）を行ってもよい。

1. **毎時の指導案**

|  |  |
| --- | --- |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Hop!** |
| 指導案　第１時 | p.18 - 19 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第１時  | **・本時の目標：アニメーション映像を通じて，本単元のトピックや語彙に触れる。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（ストーリー編，単語編），［指導書］ふりかえりシート，その他（Small Talkの内容を類推するための具体物や写真など） |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| 本時では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 | － |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | 本時（第1時）では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 |
| **◆英語の歌【How Do You Do?】** * How Do You Do?を歌う。
 | * 児童といっしょに歌う。

留意点　歌を一度聞かせて，知っている英語があったかなど問いかけてもよい。 |
| **●Small Talk : 「ALTの自己紹介」*** 指導者の話を，反応を示したり，質問について考えたり答えたりしながら聞く。
 | * ALTと協力する。ALTが自己紹介をする。

留意点　一方的に話すのではなく，児童を会話に巻き込みながら話すようにする。 |
| ［Small Talk例］　**「ALTの自己紹介」**［指導者の発話例］Hello. I’m Monica Domingo (ALTの名前). M-O-N-I-C-A, Monica. D-O-M-I-N-G-O, Domingo. （出身国の国旗，出身地の写真などを示し）I’m from Cebu, in the Philippines. My hometown has beautiful beaches.I love marine sports very much. Do you like marine sports, too? I like diving. I’m good at surfing. I love going to the beach on Sundays. Nice to meet you, everyone. 留意点　下線部は，指導者（ALT）が入れ替えて使用。名前，出身地，得意なことを中心に紹介する。ALTの出身地に関わる写真などを用意しておくとよい。 |
| **●めあての確認*** 教科書p.19を開き，Unit 1の単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 教科書p.19を開き，Unit 1の単元目標【Goal】と本時の目標を児童と確認する。
 |

第１時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| トピックの理解（20分） | **●トピックの導入*** 指導者からの質問について考えたり，答えたりする。
 | * アニメーションを見る前に，教科書p.18-19のイラストを使用し，児童とやり取りをする。
1. 場面（どこで話されているか）
2. 人物（イラストの中には誰がいるか）
3. 語彙（どのようなものが見えるか）を引き出すようにする。
 | 本時（第1時）では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 |
| **◆Story*** アニメーションを見る。聞き取れた言葉や，分かったことをメモしておく。
* 指導者の質問に答える。
* 指導者や他の児童といっしょに，場面や内容を確認する。
 | 1. **アニメーション全体（3分程度）を児童といっしょに見る。**

**アニメーション全体を流した後，映像内の挨拶や自己紹介で扱っている表現や，この単元の語彙を児童といっしょに確認する。**・挨拶や自己紹介の表現：Hi. Hello. Nice to meet you. I’m (名前). など |
| ［指導者(T)と児童(S)のやりとり例］T: (教科書p.19のカナダのT-shirtを指さしながら)What country is this? The U.S.? Australia?S: カナダ.T: That’s right. Canada. Mike is from Canada. He is from Canada. Can you say it?S: He is from Canada. 留意点　児童の実態に応じて，映像を適宜止めながら，見せるようにしてもよい。また，映像を見せる前に，児童に最初からすべてが聞き取れなくてもよい旨，伝えておくようにする。 |

第１時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「トピックの理解」続き） | * 指導者といっしょにアニメーションの話の流れを確認する。
 | 1. **ピクチャーカード（ストーリー編）を使用し，話の内容を整理する。**
* その場面を表す英語を言いながら，ピクチャーカードを貼るとよい。場合によっては，ALTに英語を言ってもらってもよい。
 | 本時（第1時）では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 |
| ［指導者の発話例］ピクチャーカード（ストーリー編）使用〈　〉はカード番号・1枚目：They are introducing each other. （留学生を指さして）This is Min-soo. He said, “Nice to meet you.” 〈02〉・2枚目：Min-soo is from Korea. Asha is from India. 〈03〉・3枚目：Mary is from the Philippines. Lily wants to go to the Philippines. 〈05〉・4枚目： Mike is from Canada. He said, “I’m good at ice hockey.” 〈07〉 |
| 語彙の理解（15分） | **●自己紹介の語彙（国名など）の導入*** 指導者といっしょに国名の語彙を確認する。
 | * ピクチャーカード（単語編）を使い，クラス全体で語彙の確認をしておく。

留意点　アニメーションで触れていない語もあることに留意しておく。 |
| **◆Let’s play.【キーワードゲーム】*** ペアになり，消しゴムを1つ用意する。
* 指導者がキーワード以外の単語（語句）を言った際には，単語（語句）をくり返す。
* 指導者がキーワードを言った際には，単語（語句）をくり返さず，消しゴムを取る。消しゴムを取った児童が1ポイントもらえる。
 | * ピクチャーカード（単語編）を使い，クラス全体で国名などを確認する。

留意点　Story（アニメーション映像）では触れていない国名もあることに留意しておく。* 「キーワード」の単語（語句）を発表する。
* ピクチャーカード（単語編）の国名を表す単語（語句）を１つ選び，読み上げる。
* 読み上げた単語（語句）のピクチャーカードを黒板に貼る。
 |

第１時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「語彙の理解」続き） | **【キーワードゲーム】（活動手順）**①指導者は「キーワード（単語）」を発表する。②児童はペアになって座り，2人の間に消しゴムを置く。③指導者は単語を1つ言う。児童はそれをくり返す。ただし，教師がキーワードを言ったときには，くり返さずに消しゴムを取る。消しゴムを取った児童は，1ポイントもらえる。 | 本時（第1時）では，目標に向けて指導は行うが，記録に残す評価は行わない。 |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | * 回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。

留意点　映像を見て気付いた点を積極的に述べていたかも見取れるとよい。 |
| **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Step 1** |
| 指導案　第２時 | p.20 - 21 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第２時  | ・**本時の目標：出身地やできることをたずねたり答えたりする言い方を知る。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（単語編，ストーリー編），ペンマンシップ・シート，［指導書］ふりかえりシート，その他（Small Talkの内容を類推するための具体物や写真など） |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| ■**［聞くこと］**I’m from....などの表現について理解している。《知識》 ／出身地について，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》 | **◆Let’s listen.** **◆Let’s play.** |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | － |
| **◆英語の歌【How Do You Do?】** * How Do You Do?を歌う。
 | * 児童といっしょに歌う。
 |
| **●前時の復習（国名など）*** 第1時に見たアニメーションの内容やアニメーションに登場した国名などを確認する。
 | * 第１時の国名（語句）を，ピクチャーカード（単語編）を使って簡単に確認する。
 |
| **●Small Talk : 「出身地」*** 指導者の話を，反応を示したり，質問について考えたり答えたりしながら聞く。
 | * 事前に出身地を表す写真を用意しておき，出身地について話す。出身地の言い方を導入する。
* 一方的に話すのではなく，児童を会話に巻き込みながら話すようにする。
 |
| ［Small Talk例］ 「**出身地」**［指導者の発話例］ALT：Hello, Ms. Goto.担任：Hi, Ms. Domingo.ALT：During my spring vacation, I went back to my hometown.担任：Oh, really? （ALTを示しながら，第1時でALTから聞いた出身地を児童に問いかけ）Where is she from, again? ALT：（児童からCebuやthe Philippinesの答えを引き出し）Yes. I’m from Cebu, in the Philippines. 担任：Oh, I remember now.ALT：How about you? Where are you from, Ms. Goto?担任：I’m from Saitama. ALT：Wow. Nice. (児童に向かって) How about you all? Are you from here? Where are you from ?  |

第2時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「導入」続き） | **●めあての確認*** 単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 児童といっしょに目標を確認する。
 |
| 学習表現の導入／理解（15分） | **◆Let’s watch.*** アニメーションの一部を見て，留学生のミンスの出身地に○を付ける。
* 指導者の質問に答える。
 | 1. **アニメーションを見る前に，教科書p.20 Let’s watch.の選択肢（Korea, China）を児童といっしょに確認する。**
2. **アニメーションを見る。教科書p.20のMin-sooのイラストを指さして，This is Min-soo. He is from where?のようにたずねる。**
3. **Let’s watch.の答え（Korea）を児童といっしょに確認する。児童から答えが出てきたら，国名のピクチャーカード（単語編）を黒板に貼り，Step 1の基本表現（Where are you from? I’m from….）を黒板に書くなどして示す。**

留意点　教科書p.20 Let’s watch.の場面絵をあらかじめ黒板に貼っておいてもよい。ピクチャーカード（ストーリー編）に収録。 | **◆Let’s listen.** ■**［聞くこと］**I’m from....などの表現について理解している。《知識》 ／出身地について，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》 |
| **◆Let’s listen. 【他の留学生たちの出身地】*** ニックたちの学校での交流会の会話を聞いて，人物と国を線で結ぶ。
 | 1. **音声を聞かせる前に，教科書p.20 ①～④の人物と国名(the U.S.~ Russia)をピクチャーカード（単語編）を使用し，簡単に確認する。**
2. **児童に音声を聞かせ，答えを線で結ばせる。**
* クラスの実態に応じて，音声の途中で区切って聞かせたり，複数回音声を聞かせたりしてもかまわない。
 |
| **◆Let’s chant.【I’m from the U.S.】*** チャンツを使って，Step 1の表現を練習する。
 | 1. **クラス全体でチャンツを聞く。**
* 場合によってはこの時点で指導者が口ずさんでもよい。チャンツに合わせて教科書紙面の国旗のイラストを指すように指示し，チャンツに出てくる国名を確認する。
 |

第2時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「学習表現の導入／理解」続き） | * 指導者の質問に答える。
 | 1. **チャンツを聞いた後，実際に声に出して，練習させる。**
* 脚注［発音］の内容にも触れるようにする。英単語の強く読まれる箇所が太字になっている。
 |  |
| 学習表現の使用（活動）（15分） | **◆Let’s play. 【スリーヒントクイズ】*** 指導者が出題したクイズに答える。
 | 1. **有名人やキャラクターなど，なりきる人物を決める。**
2. **ヒントを考え，児童の反応を見ながら，1つずつヒントを出す。既習表現やStep 1の基本表現や語彙を使用して，ヒントを出すようにする。**
 | **◆Let’s play.** ■**［聞くこと］**I’m from....などの表現について理解している。《知識》 ／出身地について，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》 |
| **【スリーヒントクイズ】（活動手順）**①指導者は，児童が知っている有名人や，アニメーションの登場人物などになりきり，canなどの既習表現を使って，1つ目のヒントを出す。児童はペアで答えを考える。②指導者は，続けてI want to go to Italy.など，2つ目のヒントを出す。③3つ目のヒントを聞くために，児童は全員でWhere are you from?と出身地をたずねる。指導者は，I’m from ….となりきっている人物の出身地（国）を答える。最後に，クラス全体の答えを確認する。 |
| 音と文字の理解（5分） | **◆p, bの音と書き方を学ぶ*** アルファベットジングルp, bを聞く。pとbの音を確認する。
* 指導者のお手本を参考にしながら，教科書巻末のペンマンシップ・シートにp, bと書く。
 | 1. **アルファベットジングルp, bを聞かせる。**
2. **ジングルを使って，p, bの発音を示しながら，ピクチャーカード（単語編）のpencil, pig, banana, bearを黒板に貼る。**
3. **再度アルファベットジングルを流し，全員で音を確認する。**
4. **p, bの文字を黒板に書き，手本を示す。教科書のペンマンシップ・シートを使用して，p, bの文字を書かせる。**
 | － |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | ・回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。 | － |
| **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Step 1** |
| 指導案　第３時 | p.20 - 21 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第３時  | ・**本時の目標：出身地やできることをたずね合う。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（単語編），ペンマンシップ・シート，［指導書］ふりかえりシート |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| ■**［話すこと　発表］**I’m from….などの表現について理解している。《知識》／出身地について，I’m from....などの表現を用いて話す技能を身につけている。《技能》 | **◆Let’s play.**  |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | － |
| **●めあての確認*** 単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 児童といっしょに目標を確認する。
 |
| 学習表現の使用（復習）（10分） | **◆Let’s chant.【I’m from the U.S.】*** 第2時のチャンツを再度使う。Step1の表現の復習をする。
 | * 第2時で扱ったチャンツをもう一度使い，Step 1の基本表現の復習をさせる。
* ［チャレンジ］のチャンツ“I’m from China.”に挑戦してみてもよい。
 | **◆Let’s play.** ■**［話すこと　発表］**I’m from….などの表現について理解している。《知識》／出身地について，I’m from....などの表現を用いて話す技能を身につけている。《技能》 |
| **◆Let’s play.【スリーヒントクイズ】*** 第2時で扱ったスリーヒントクイズを再度行う。出題者となり，別の児童にクイズを出題する。
 | * 第2時で扱ったスリーヒントクイズを児童同士で行わせる。
* 児童がクイズを出す際は，必要に応じてヒントを出すなど手助けをする。
 |
| 自己表現（20分） | **◆Let’s try.【何の動物かを当てる】*** なりきっている動物を当てるため，指導者に質問する。
* 指導者のヒントを手掛かりに，なりきっている動物を当てる。
* 活動に慣れてきたら，自分が教科書p.21の表を見ながら，クイズを出題する。
* 友達とやり取りをして，なりきっている動物を当てる。
 | 1. **教科書p.21　Let’s try.の表からなりきる動物を1つ決める。**
2. **児童に質問させる。Can you…?の表現を使って質問させるようにする。指導者はなりきっている動物について，Yes, I can. / No, I can’t.で答える。**
3. **最後にWhere are you from?の表現を使って国名を質問させる。**
 | － |

第3時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「自己表現」続き） |  | ［指導者（T）と児童（S）の発話例（児童の質問例）］・sealの場合S：Can you run fast?T：No, I can’t. S：Can you swim fast?T：Yes, I can.S：Where are you from?T：I’m from Canada.S：Are you a seal?T：Yes, I am. | － |
| **【何の動物か当てる】（活動手順）**①指導者は，教科書p.21の表からなりきる動物を選ぶ。児童はCan you run fast?やCan you swim fast?などのように指導者に質問する。指導者は，Yes, I can. などと児童の質問に答える。続けて，児童はWhere are you from?と国名をたずねる。教師はI’m from the U.S.のように答える。②児童はヒントを手掛かりにA horse?などと答える。③活動に慣れてきたら，児童同士でやり取りをする。出題者を児童に変え，活動を行う。 |
| **◆Let’s write.*** 外国の友達に自己紹介するつもりで，自分の出身地を書く。
 | * 席を回って，児童の様子を確認する。
* 教科書p.21　Let’s write.にも説明があるが，「単語と単語の間を小文字1字分くらい空ける」「文の終わりにピリオドを付ける」「文の始めは大文字で」などは児童が文字を書く際に抜けやすい点なので，再度注意を促すようにする。
 |
| 音と文字の理解（5分） | **◆p, bの音と書き方を学ぶ*** アルファベットジングルp, bを聞く。pとbの音を確認する。
* 指導者のお手本を参考にしながら，教科書巻末のペンマンシップ・シートにp, bと書く。
 | 1. **アルファベットジングルp, bを聞かせる。**
2. **ジングルを使って，p, bの発音を示しながら，ピクチャーカード（単語編）の（pencil, pig, banana, bear）を黒板に貼る。**
3. **再度アルファベットジングルを流し，全員で音を確認する。**
4. **p, bの文字を黒板に書き，手本を示す。教科書のペンマンシップ・シートを使用して，p, bの文字を書かせる。**

留意点　第2時でも同じ活動をしている。クラスの実態に応じて時間を短縮したり，手順を簡略化したりしてもよい。 | － |

第3時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | * 回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。

留意点　国や出身地の表し方について気づいたことを引き出したい。 | － |
| **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Step 2** |
| 指導案　第４時 | p.22 - 23 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第４時  | ・**本時の目標：得意なことを伝える言い方を知る。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（ストーリー編，単語編），ペンマンシップ・シート，［指導書］ふりかえりシート |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| ■**［聞くこと］**I’m good at….などの表現について理解している。《知識》／得意なことについて，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》■**［話すこと　やり取り］**I’m good at....などの表現について理解している。《知識》 ／自分の得意なことについて， I’m good at….などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。《技能》 | **◆Let’s listen.** **◆Let’s play.**  |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | － |
| **●前時の復習*** 出身地の言い方などを簡単に確認する。
 | * 第３時の内容（表現と語彙）を簡単に確認する。
 |
| **●Small Talk : 「担任の先生の得意なこと」*** 指導者の話を，反応を示したり，質問について考えたり答えたりしながら聞く。
 | * 指導者が自身の得意なことについて話す。
* 一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。
 |
| ［Small Talk例］　**「担任の先生の得意なこと」**［指導者の発話例］I like sports very much.In summer, I often go to the beach and enjoy surfing. In winter, I enjoy winter sports with my family. I’m not so good at snowboarding, but I’m good at skiing. Are you good at skiing? What are you good at? |
| **●めあての確認*** 単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 児童といっしょに目標を確認する。
 |
| 学習表現の導入／理解（15分） | **◆Let’s watch.*** 選択肢（skiing, ice hockey）を指導者といっしょに確認する。
* 映像を見て，留学生のマイクが得意なスポーツ（ice hockey）を選ぶ。
* 指導者の質問に答える。
 | 1. **アニメーションを見る前に，教科書p.22 Let’s watch.の選択肢（skiing, ice hockey）を児童といっしょに確認する。**
2. **アニメーションを見る。マイクが得意と言っていたものを児童と確認する。**
 |  |

第4時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「学習表現の導入／理解」続き） |  | ［指導者(T)と児童(S)のやりとり例］T: What is Mike good at? What did Mike say?S: Hockey?T: That’s right. He said ice hockey. He said, “I’m good at ice hockey.”  | **◆Let’s listen.** ■**［聞くこと］**I’m good at….などの表現について理解している。《知識》／得意なことについて，具体的な情報を聞き取る技能を身につけている。《技能》 |
| 留意点　hockeyの発音は，児童に「ハッキー」と聞こえることも多い。教科書p.22のアイスホッケーの写真を見ながら，聞き取らせるとよい。 |
| **◆Let’s listen.【他の人物の自己紹介】*** 留学生の自己紹介を聞き，得意なことなどを聞き取る。分かったことを表に記入する。
 | 1. **音声を聞かせる前に，Let’s listen. の登場人物とI'm from..../I like..../I'm good at....などの表現に触れておく。得意なことやその他にも分かったことを聞き取るように伝えておく。**
2. **音声を流す。**

留意点　児童の実態に応じて，場合によっては１問ずつ複数回聞かせてもよい。1. **全員で答え合わせを行う。**
 |
| **◆Let’s chant.【I’m good at running.】*** チャンツを使って，Step 2 の表現に慣れる。
* 指導者の質問に答える。
 | * チャンツを通じて，表現に慣れさせる。
* 脚注［発音］の内容にも触れるようにする。

good atの連結について触れている。 |  |
| 学習表現の使用（活動）（15分） | **◆Let’s play.【チェーンリレー】*** 列になり，自分の後ろの児童に自分が得意なものを伝える。聞いた児童は，その後ろの児童に自分が得意なことを伝える。
 | * 得意なことを表す表現を確認する。
* 指導者と児童で一度やり取りを行う。児童と指導者とのやり取りを見せてから，児童同士で伝え合わせる。
* 児童が活動している際は，児童がI’m good at....の表現をしっかりと言えているかを確認するようにする。
 | **◆Let’s play.** ■**［話すこと　やり取り］**I’m good at....などの表現について理解している。《知識》 ／自分の得意なことについて， I’m good at….などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。《技能》（ゴール活動に向けて，ここで形成的評価を行うことが可能。） |
| ［児童（S1, S2, S3）のやり取り例］S1：I’m good at baseball.S2：Oh, you’re good at baseball. （後ろの人に向かって）I’m good at skiing.S3：Oh, you’re good at skiing. （やり取りを最後尾までくり返す） |

第4時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （学習表現の使用（活動）続き） |  | 留意点　児童が活動している際は，児童がI’m good at….の表現をしっかりと言えているかを確認する。 |  |
| **【チェーンリレー】（活動手順）**①得意なことを伝え合うゲーム。指導者が１つテーマ（教科，スポーツなど）を1つ決める。②列になり，前の児童が後ろの児童に I’m good at baseball.のように伝える。後ろの児童は， Oh, you’re good at baseball.のように相づちを打ち，次に後ろの児童に自分が得意なことを伝える。 |
| 音と文字の理解（5分） | **◆p, bの音と書き方を学ぶ*** アルファベットジングルp, bを聞く。pとbの音を確認する。
* 指導者のお手本を参考にしながら，教科書巻末のペンマンシップ・シートにp, bと書く。
 | 1. **アルファベットジングルp, bを聞かせる。**
2. **ジングルを使って，p, bの発音を示しながら，ピクチャーカード（単語編）のpeach, popcorn, beach, boyを黒板に貼る。**
3. **再度アルファベットジングルを流し，全員で音を確認する。**
4. **p, bの文字を黒板に書き，手本を示す。教科書のペンマンシップ・シートを使用して，p, bの文字を書かせる。**
 | － |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | * 回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。

留意点　得意なことを伝える言い方についても慣れてきたかどうか，児童に振り返らせたい。 | － |
| **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |

|  |  |
| --- | --- |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Step 2** |
| 指導案　第５時 | p.22 - 23 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第５時  | **・本時の目標：得意なことを伝え合う。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（単語編），ペンマンシップ・シート，［指導書］ふりかえりシート |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| ■**［話すこと　やり取り］**I’m good at....などの表現について理解している。《知識》 ／自分の得意なことについて， I’m good at….などの表現を用いて伝え合う技能を身につけている。《技能》■**［話すこと　やり取り］**お互いのことを知るために，I’m good at....などの表現を用いて，得意なことを［伝え合っている。《思・判・表》 ／ 伝え合おうとしている。《態度》］ | **◆Let’s play.** **◆Let’s try.**  |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | － |
| **●めあての確認*** 単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 児童といっしょに目標を確認する。
 |
| 学習表現の使用（復習）（10分） | **◆Let’s chant.【I’m good at running.】*** 第4時のチャンツを再度使い，Step 2 の表現を復習する。
 | * 第4時で扱ったチャンツをもう一度使う。
 | **◆Let’s play.** ■**［話すこと　やり取り］**「評価規準（例）《知識》《技能》」記述参照。 |
| **◆Let’s play.【チェーンリレー】*** 後ろの児童に自分の得意なものを伝える。
 | * 第4時で扱った活動を，形式を変えて行う。
 |
| 自己表現（20分） | **◆Let’s try.【得意なことを伝え合う】*** 教科書p.23のものの中から，自分が得意なことを２つ選び，友達に伝える。
* やり取りした相手の得意なものをメモする。
 | * ピクチャーカード（単語編）を使って，教科書紙面の語彙（arts and crafts ~ playing the recorder）を児童といっしょに確認する。
* 教科書の内容に自分の得意なものがないと感じる児童がいる場合は，児童自身に考えさせてもよい。その場合，使用する語句や表現をアドバイスする。

留意点　児童の自己肯定感を高められるよう，少しでも得意だと思ったら，選んでもよい，などとアドバイスするようにする。 | **◆Let’s try.** ■**［話すこと　やり取り］**お互いのことを知るために，I’m good at....などの表現を用いて，得意なことを［伝え合っている。《思・判・表》 ／ 伝え合おうとしている。《態度》］（ゴール活動に向けて，ここで形成的評価を行うことが可能。） |

第5時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| （「自己表現」続き） | **【得意なことを伝え合う】（活動手順）**①児童は教科書p.23のイラストから得意なことを2つ選び，○印などを付けておく。教科書p.23に得意なものを表すイラストがない場合は，「自分で考えて」の欄にメモしておく。言い方がわからない場合は一部日本語でもよいこととする。（例：「長縄（とび）」が得意な場合，I’m good at *naganawa*.などと言う。）②ペアになり，自分が得意なものを1つずつ伝える。自分と得意なことが同じ人がいたら，やり取りのあとにハイタッチする。③ペアを変えて，同様に②のやりとりを行う。 | － |
| **◆Let’s write.*** 自分が得意なことを１つ書く。
 | * 席を回って，児童の様子を確認する。

留意点　児童が自分の得意なものを書く際に役立つよう，スポーツ名や楽器名などのピクチャーカード（単語編）を黒板に掲示しておく。 |
| 音と文字の理解（5分） | **◆p, bの音と書き方を学ぶ。*** アルファベットジングルp, bを聞く。pとbの音を確認する。
* 指導者のお手本を参考にしながら，教科書巻末のペンマンシップ・シートにp, bと書く。
 | 1. **アルファベットジングルp, bを聞かせる。**
2. **ジングルを使って，p, bの発音を示しながら，ピクチャーカード（単語編）のpeach, popcorn, beach, boyを黒板に貼る。**
3. **再度アルファベットジングルを流し，全員で音を確認する。**
4. **p, bの文字を黒板に書き，手本を示す。教科書のペンマンシップ・シートを使用して，p, bの文字を書かせる。**

留意点　第4時でも同じ活動をしている。クラスの実態に応じて時間を短縮したり，手順を簡略化したりしてもよい。 | － |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | * 回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。

留意点　自分の得意なことを伝えることで，自分自身のことを表現する楽しさや自己を肯定する気持ち，友達の意外な一面を知る楽しさなどを児童に感じてもらえるとよい。 | － |
| （「まとめ」続き） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |  |
| **６年Unit 1　This is me.** | **Jump!** |
| 指導案　第６時 | p.24 - 25 |

|  |  |
| --- | --- |
|  第６時  | ・**本時の目標：みんなが知らない自分の一面を紹介する。**・準備するもの：［指導書］音声・映像DVD，ピクチャーカード（単語編），ペンマンシップ・シート，［指導書］ふりかえりシート |
|  |

**本時の評価規準と主な該当箇所**

|  |  |
| --- | --- |
| 評価規準 | 主な該当箇所 |
| ■**［聞くこと］**世界の国々への理解を深めるために，各国の小学生の自己紹介から，出身地や得意なことなどを［聞き取っている。《思・判・表》／聞き取ろうとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。■**［話すこと　発表］**友達が知らない自分の一面を伝えるために，自分の出身地や得意なことなどを言って，［自己紹介をしている。《思・判・表》／自己紹介をしようとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。■**［聞くこと］［書くこと］**アルファベットの活字体の大文字・小文字について理解している。《知識》／アルファベットの活字体の大文字・小文字を聞いて識別したり書いたりする技能を身につけている。《技能》 | **◆World Tour****◆You can do it!** **〇Fun Time 1 文字遊び** |

**本時の活動**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| 導入（5分） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。
 | － |
| **●前時の復習*** 得意なことを伝える言い方を確認する。
 | * 第５時の内容（表現と語彙）を簡単に確認する。
 |
| **●めあての確認*** 単元目標【Goal】と本時の目標を確認する。
 | * 児童といっしょに目標を確認する。
 |
| ゴール活動への理解（10分） | **◆World Tour【世界の小学生の自己紹介】*** 世界の小学生の自己紹介を聞いて，気がついたことを班で共有する。
* 世界の小学生が住んでいる国，好きなこと，あこがれの人，してみたいことなどに注目しながら映像を見る。
 | * 児童に，映像を見せ，気づいたことを班で話し合わせる。

留意点　映像の内容については，話の要点（どんな話題が出てきたか）と，映像から気づいたことを簡単に引き出せるとよい。また，自己紹介で使っている表現で参考にできそうなものを示し，ゴール活動で友達が知らない自分の一面を紹介する際に生かせるようにしたい。 | **◆World Tour**■**［聞くこと］**世界の国々への理解を深めるために，各国の小学生の自己紹介から，出身地や得意なことなどを［聞き取っている。《思・判・表》／聞き取ろうとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。 |
| 学習表現の確認，定着（5分） | **◆Let’s chant.【I’m from the U.S.】【I’m good at running.】*** Step 1とStep 2のチャンツを再度使い，単元の表現を復習する。
 | * I’m from the U.S. とI’m good at running. の2つのチャンツを使う。
 | － |

第6時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 指導者の活動 | 評価 |
| ゴール活動（15分） | **◆You can do it!** * 自己紹介の内容を考える。紹介したいことの写真や絵を準備する。
* 用意した写真や絵を使って，自己紹介をする。
* 発表後，ふりかえりシートに，友達の自己紹介の中でいちばん驚いたこと（いちばんの発見）を書く。
 | * 発表の準備の際は，班で協力して活動させるようにする。
* 児童に自己紹介をさせる。

留意点　発表が苦手な児童や，英語が苦手と感じている児童がいる場合は，4人などの小グループ内で自己紹介させあうなど工夫する。6年生最初の単元なので，失敗を感じさせず，達成できた喜びを味わわせて，次の単元につなげるようにする。 | **◆You can do it!** ■**［話すこと　発表］**友達が知らない自分の一面を伝えるために，自分の出身地や得意なことなどを言って，［自己紹介をしている。《思・判・表》／自己紹介をしようとしている。《態度》］／《知識》《技能》は，「評価規準（例）」記述参照。 |
| 音と文字の理解（5分） | **◆Fun Time 1 文字遊び【名札を書こう】*** 音声を聞いて，聞こえてきた単語のイラストを探す。教科書p.26のイラストが表す単語の初めの文字を書く。
* 答えに出てきた小文字をアルファベット順にペンマンシップ・シートの4線に記入する。
 | * 児童に音声を聞かせ，聞こえてきた単語のイラストを教科書p.26から探させ，聞こえてきた単語の初めの文字を4線に書かせる。
* 全ての単語を聞き終えたら，クラス全体で答え合わせをし，答えに出てきた小文字をアルファベット順にペンマンシップ・シートの4線に書かせる。
 | **〇Fun Time 1** **文字遊び** ■**［聞くこと］［書くこと］**アルファベットの活字体の大文字・小文字について理解している。《知識》／アルファベットの活字体の大文字・小文字を聞いて識別したり書いたりする技能を身につけている。《技能》 |
| まとめ（5分） | **●ふりかえりシートの記入*** 本時の活動について自分がどの程度「できた」かを振り返る。自己評価と，本時の学習を通じて気がついたことを記入する。
 | * 回収したシートを参考に，児童の習熟度（どのくらい理解しているか）を確かめ，次時の授業にいかすようにする。
 | － |
| **●CAN-DOシールを紙面に貼る*** 学習の達成度に応じて，４通りあるCAN-DOシール（教科書巻末）から１つを選び，紙面に貼る。
 | * 児童にCAN-DOシールを貼らせる。
 |
| （「まとめ」続き） | **●挨拶*** 挨拶をする。
 | * 次回の授業の内容や宿題について触れる。
* 挨拶をする。
 |  |